

臨床研究実施のお知らせ

研究情報の公開について(オプトアウト)

目的を含む研究の実施についての情報を公開し、患者さんが研究への参加をいつでも制限・拒否できる機会があることを「オプトアウト」といいます。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	院内心停止データレジストリーに関する多機関共同研究
本研究の研究責任者	聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター 住 所:〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1 電 話:044-977-8111 (代表) 研究代表者:藤谷 茂樹
当院の責任者	救急科 科長 三木 俊史
研究目的	当院では、院内での病状悪化を早期発見し治療できるように院内救急体制の整備に努めています。院内救急体制の充実のため、入院中に心肺蘇生が必要になってしまった患者様のデータを多施設で収集し、上記の研究を行っております。この研究は、入院中の患者様が急変した際に予期せぬ死亡につながるような臨床兆候等について明らかにすることを目的とし、皆様の今後の治療にも役立つことができると考えています。
研究期間	2024年8月1日～2028年7月31日
研究方法	2024年8月1日～2028年7月31日に当院に入院された方のデータを使用いたします。 【観察項目】 ・患者基本情報 年齢、性別、入院日、主病名、担当科、併存疾患、小児患者のみ身長・体重および先天性心疾患の有無、入院時脳機能 ・RRS 起動前患者情報 バイタルサイン(体温、血圧、心拍数、呼吸数、意識状態)、酸素投与の有無、集中治療室滞在の有無、処置時の鎮静・麻酔の有無、手術の有無および手術情報、コードステータス ・転帰 RRS 後 24 時間および 1 ヶ月後転帰、入院転帰、退院日および退院先、退院時脳機能 ・心停止基本情報 発生時刻・場所、緊急システム起動時刻、医師到着時刻、対応終了時刻 ・心停止前状況

	<p>院外心停止の有無、最終バイタルサイン、行われている治療(気管挿管・気管切開の有無、動脈圧ライン、人工呼吸器使用の有無、心電図および酸素飽和度モニター装着の有無、静脈路確保の有無、昇圧剤使用の有無)</p> <p>・心肺停止詳細 目撃者の有無、初期心電図波形、目撃者による心肺蘇生の有無、小児のみ脈拍触知の有無、心停止要因、併存疾患、胸骨圧迫・AED・除細動の有無、除細動条件、高度な気道確保の有無と時刻、アドレナリン投与の有無と時刻および投与量、不整脈薬の投与の有無(アミオダロン、ニフェカラン、リドカイン)、ECPRの有無と時刻</p> <p>・転帰 対応終了時のコードステータス、心拍再開の有無と時刻、蘇生終了時刻、病棟移動の有無</p> <p>なお、本調査は純粋な調査研究であり、患者様やご家族の方にいかなる利益・不利益が生じることはありません。</p>
<p>情報の提供先</p>	<p>聖マリアナ医科大学病院 救命救急センター 住 所:〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1 電 話:044-977-8111 (代表) 研究代表者:藤谷 茂樹</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されませんが、登録情報は外部に漏洩することがないように慎重に取り扱われます。なお、この研究では、海外を含めた他組織の研究者に個人が特定できないように加工された研究データを二次利用の形で提供する場合がありますが、その場合も実際に施行する研究計画の倫理審査承認を受けた上で情報は同様に適正に取り扱われます。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本研究は日本集中治療医学会、日本臨床救急医学会より事務局運営資金の支援を受けて実施しています。両学会は研究結果および解析に関与しません。またレジストリの運営は関連学会からなる日本院内救急検討委員会(In-Hospital Emergency Committee in Japan)により運営されています。その他、本研究の計画・実施において、研究結果及び結果の解釈に影響を及ぼす利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>社会医療法人近森会 近森病院 救命救急センター 住 所 :〒780-8522 高知県高知市大川筋 1 丁目 1-16 電 話 :088-822-5231 担当医師:救急科 科長 三木 俊史</p>